



特定非営利活動法人

障害平等研修フォーラム

Disability Equality Training (DET) Forum

障害って、何？
What?



障害は、どこにある？
Where?

さあ、はじめよう！
Let's start action!

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



障害平等研修フォーラムは「持続可能な開発目標 (SDGs : Sustainable Development Goals)」の推進を支援しています。

障害は 17 のゴール全てに関連する分野横断的な課題です。その中でも 8 つのゴール (1 貧困、3 健康、4 教育、8 就労、10 平等、11 まちづくり、16 平和で包摂な社会、17 パートナートナーシップ) のターゲット・指標において障害・障害者が言及されています。

What is "DET"

障害平等研修の構成

2-3時間のワークショップとして実施します。20-30名前後の参加者がグループに分かれ、研修の進行役となるファシリテーターと一緒にイラストやビデオなどの課題を分析したり議論をしたりしながら障害についての対話を進めていきます。



前半

90分~

差別や排除としての障害を見抜く分析の視点としての障害の社会モデルの視点の獲得



例えば、左図を見て「障害はどこにあるのか？」を議論します。小グループごとにどこに障害があるかを決め、スクリーンに映し出されたこのイラストの上に実際に付箋を貼っていきます。脚に貼る人もいれば、階段に貼る人もいるし、入り口の矢印案内に貼るグループもあります。それらの異なる意見から、障害はどこにあるのかということ全員で議論しながら障害について考えていきます。



◎使用する分析用動画（10分）の短縮版はYouTubeでも視聴できます

後半

90分~

社会モデルの視点をもとに、共生社会を組織または個人として作り出す具体的な解決行動を考えます。



差別場面のビデオを見て、何が差別か、なぜ差別が作られたのか、どう解決するのか、をグループで分析していく作業を通して、障害の社会モデルの視点と具体的な解決方法を考える力を獲得していきます。

この研修の間、ファシリテーターは答えを言うことはありません。「何が」「どうして」「なぜ」「どうする」といった質問を積み重ねていきます。答えは参加者自身がファシリテーターとの対話やグループでの議論を通して見つけ出していきます。これが発見型学習という方法です。



**国連障害者権利条約、
障害者差別解消法、
そして、SDGsの推進に向けて!**

障害平等研修とは

多様性を前提にした共生社会（インクルーシブな社会）の実現にむけた障害教育、人権教育としての研修です。単に障害についての知識を得ることではなく、参加者自身が自分たちの自治体や会社、学校や団体を全ての人にとって住みやすい、働きやすい、学びやすい、参加しやすいよりインクルーシブなものへと変えていくための『行動の主体』となるための行動志向型の研修です。



行動へのポイント

障害の社会モデル^{※1}の視点の獲得

差別や排除、参加の制約としての障害という課題を見抜く社会分析の視点を獲得すること。

※1 「障害の社会モデル」：国連障害者権利条約や障害者差別解消法における障害の考え方。
障害は障害者個人ではなく社会や環境の側にあり、障害の解決にはそれら社会の障壁を無くしていくことが必要だとする考え方。

差別の解消や合理的配慮のための具体的な行動の獲得

多様性に基ついた共生社会を作り出す具体的な行動を作り出すこと。

DETの特徴

発見型学習

DETの目的は参加者が共生社会を形成するために行動することです。講義形式の方法ではこの行動という結果を得ることは難しいです。問題の発見と解決策の創造というプロセスを作り出す発見型学習という方法が重要です。

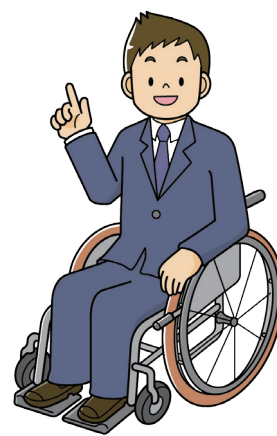
パウロ・フレイレが理論化した批判的社会認識の方法論を基礎にしたもので課題提示教材（課題状況を示す絵やビデオ）と発見を促す質問（課題の分析を促す質問）を用い、対話型のワークショップとして行います。



障害者自身がファシリテーター

障害を理解する最善の方法は障害者と日常生活を共にすることでしょう。しかし、残念ながら私たちはそういう共生の機会を学校でも職場でも奪われてきました。その結果、周りに多様な人たちがいない状況を“普通”だと思っています。DETでは研修という形の中で、障害者と対話する場と時間を作り出し共生社会を形成するプロセスとしたいと考えています。

DETフォーラムでは80時間の養成講座によって障害者自身をDETのファシリテーターとして育成しています。



■障害疑似体験との違い

障害について学ぶ研修では、車いすに乗ったり目隠しをしたりといった疑似体験が一般的でした。DETと疑似体験は、そこで学ぶ“障害”の違いがあります。

疑似体験は障害の機能的側面と介助・支援の方法を学びます。ここで体験しているのは目が見えない歩けないといった機能障害の体験です。乗車や入店を拒否される、同じ学校に通えない、就職で差別されるといった社会的排除や参加

の制約という意味での障害の体験ではありません。組織や制度による構造的な差別や排除を解決するには、車いすをどう押すか、といったこと以上に、障害の社会的側面としての①アクセシビリティ（サービス・製品の利用のしやすさ）や、②差別（自分の組織における雇用差別や合理的配慮の提供）そのものを学ぶ研修が必要です。DETはそれを目的としています。

障害平等研修フォーラム（DET フォーラム）とは

- 2005年に任意団体として発足。2014年にNPO法人取得。日本国内での障害平等研修の推進やファシリテーターの養成、また、世界39か国500名のDETファシリテーターのネットワーク事務局を担っています。
- 福祉のまちづくり学会「市民活動賞」（2016年度）受賞。



研修実績



- 年間100回以上の研修が実施されています。例えば、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会や自治体（東京都、世田谷区、小金井市、名古屋市、千葉市、ふじみ野市など）、教育機関（東京大学、慶応大学、東京家政大学、各地の小中高等学校など）、企業（日立システムズ、全日空商事、琉球銀行など）、社会福祉協議会やNGOなど。

ファシリテーターの養成

- 毎年DETファシリテーターの養成講座（80時間：6か月）を実施しています。
- 2021年度は国連のユネスコと協力して中東4か国（レバノン、シリア、ヨルダン、パレスチナ）向けの養成講座を実施しました。

研修パッケージ

- 対面型、オンライン（ライブ）型、オンデマンド型の3つがあります。
- 対面型：時間：2-3時間（前後半：各60-90分）。人数：4-100名（通常は20-30名）。ファシリテーター：メインファシリテーター1名にグループファシリテーター（参加者4-6名を1グループとしてグループ数分）が配置されます。短縮版・簡易版として、例えば、前半部分だけを45分で行う、また、ファシリテーターをメインファシリテーターのみとし研修費用を抑えるなどの対応も可能です。
- オンライン（ライブ）型：基本は対面型と同じです。Zoomなどのオンライン会議ツールを使って実施します。ブレイクアウト機能を使い対面型と同様にグループワークを行いながら進めます。Zoomのアカウントやオペレーターの提供も可能です。
- オンデマンド型：DETは対面型での研修を基本としていますが、例えば「全国の社員研修の一環として実施したい」といったご希望に応える方法として録画動画教材（25分×2〔前後半〕）をオンラインで視聴する方法も準備しております。

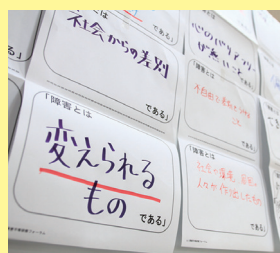
研修費用

対面型・オンライン（ライブ）型：企業・行政・教育機関等6,000円、非営利団体等4,000円（参加者1名につき）

オンデマンド型研修：2,000円（視聴者1名につき）

●減額での実施について

- ・当法人はNPO法人としてDETの実施を通じた社会貢献を目的としておりますので、料金の点が実施の支障となる場合には遠慮なくご相談下さい。
- ・将来の本格実施に向けた検討の機会としての試験的な実施（少人数）・デモンストラーション体験などは無料での対応もしております。
- ・行政・教育機関などで既存の講師謝金既定での実施が求められる場合には、できるだけそれに沿って対応いたします。



Creating an inclusive society

障害平等研修をもっと知りたい！

- 障害平等研修フォーラムのホームページ
<https://detforum.org>

- 久野研二編著『社会の障害を見つけよう：一人ひとりが主役の障害平等研修』、現代書館、2018年

- 『オリンピック・パラリンピック基本方針推進調査（ユニバーサルデザインの社会づくりに向けた調査）』内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局委託事業報告書

(http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tokyo2020_suishin_honbu/udsuisin/pdf/201703_hokoku.pdf)



■問い合わせ先

特定非営利活動法人

障害平等研修フォーラム

〒143-0016

東京都大田区大森北2-6-1 サンプラザ竹虎307

日本版：<https://detforum.org>

国際版：<https://detforum.com>

Tel: 070-5363-6443

Email: info@detforum.com